

継子とみそ汁

梗概 継子を粗末にする人が、自分の子には（しょうゆ汁を飲ませていた。）しょうゆ汁は、飲んだらたいへんおいしいでしょう。だけど、あれは栄養がない。そして、継子には、芋の汁にみそをまぜてあげると、継子は太って、自分の子はやせてしまった。それで、「もうほんとうは、それの方が栄養あるんだなあ。」といったという話があるでしょう。あの芋の汁というのは、芋の栄養があるでしょう。そして、みそも入れるから、みそが上等なんだよなあ。芋の汁には、あれだけの芋の栄養があるから、煮てある栄養があるから、それで、継子は栄養をとって太ったという話だよ。自分の子はやせて。

話者情報 1908（明治 41）年生まれ 女性

記録日 1983 年 3 月 25 日

分類 本格昔話